

教員育成指標の例

・宮城県	1
・栃木県	3
・大阪府	6
・島根県	8
・熊本県	10
・仙台市	11
・横浜市	15

表1 教員のライフステージとみやぎの教員に求められる資質能力

経験段階 教職経験	第 期 【基礎形成期】 1年目～5年目	第 期 【資質成長期】 6年目～10年目	第 期 【資質充実期】 11年目～20年目	第 期 【深化発展期】 21年目以上
【ライフステージ区分】	<ul style="list-style-type: none"> ・教員として使命感、教育的愛情を深め、広く豊かな教養や人間性を磨く 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導・生徒指導、学級経営、校務分掌について一定の職務遂行能力を身に付けるとともに、学級担任としての力量を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任、教科主任としての経験をもとに、学習指導はもとより、学級経営等の在り方に関して広い視野に立った力量を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員として求められる多様な経験を十分に積み、さらに校内におけるリーダー的な役割を果たす教員として全校の視野に立った指導力を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員としての高い専門性を発揮するとともに、学校運営上重要な役割を担い、他の職員への助言・援助など指導的役割や、学校や地域全体の教育力向上に貢献できる力量を向上させる
みやぎの教員に求められる資質能力				
授業力	<ul style="list-style-type: none"> ・教科等に関する専門的な知識 ・学習指導、授業づくりの力、教材解釈の力、教材化する力 ・学習指導要領のねらいを明確にした授業実践 ・教科指導・生徒指導等のための知識・技能及び態度 ・学びのコーディネーターとしての役割 		<ul style="list-style-type: none"> ・得意分野の伸長 ・不得意分野の克服 ・高い専門性 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力向上のための指導助言力
生徒指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の基本的な生活習慣の指導 ・児童生徒の社会性を育むための指導 ・適切な学級経営(学級づくりの力) ・個人の理解と集団の理解 ・道徳教育と生徒指導、特別活動と生徒指導 ・児童・生徒や教育の在り方に関する適切な理解 		<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の技法 ・カウンセリング ・一人一人を生かす指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導のための校内体制づくり、組織的な取組体制 ・教員の生徒指導力向上への支援 ・地域との連携
子ども理解	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の成長・発達についての深い理解、内面的な理解 ・教育的ニーズの的確な把握 ・実態に応じた適切な指導 ・共感的コミュニケーション ・子どもからの信頼 ・教育的愛情、共感的・受容的態度で接する ・児童生徒が安心して過ごすことができる生活環境 			<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒、教職員に対する関心と愛情 ・人間的な魅力・親愛感
学校を支える力	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営 ・実践的指導力 ・学校環境、教室環境等の整備 ・校務の処理 ・教職員全体との同僚としての協力 ・学校づくりへの参画 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営への参画 ・企画調整力 ・リーダーシップ ・組織や学校経営への貢献 ・教職員の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営力 ・リーダーシップ ・組織マネジメント能力 ・ビジョンの構築力 ・職場環境の改善 ・教職員の能力伸長 ・地域との信頼関係の構築
教育への情熱	<ul style="list-style-type: none"> ・教育者としての高い使命感と情熱 ・子どもに対する愛情や責任感 ・職務遂行の意欲 ・教職に対する愛着、誇り、一体感 			<ul style="list-style-type: none"> ・最高責任者としての使命と責任 ・経営する力
たくましく豊かな人間性	<ul style="list-style-type: none"> ・広く豊かな教養、常識 ・豊かな人間性や社会性 ・保護者、地域社会からの信頼 ・コミュニケーション力 ・地域や家庭と連携する力 ・自己管理力 ・高い規範意識と責任感 		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒に関する教育的愛情 	<ul style="list-style-type: none"> ・渉外力、折衝力、交渉力 ・リーガルマインド ・判断力、決断力 ・外部との協働ネットワーク ・コンプライアンスとリーダーシップ、説明責任
自己研鑽力	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発力 ・チャレンジ精神 ・各人の得意分野づくり ・個性の伸長 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発力と研修意欲 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発力と研修意欲 ・OJT支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育や人材育成に対する明確な理念と高い識見 ・広く豊かな教養と経営能力 ・教員のキャリア形成支援

表2 教員研修体系表

経験段階 研修種別		第 期	第 期	第 期	第 期	
		【基礎形成期】	【資質成長期】	【資質充実期】	【深化発展期】	
		1年目～5年目	6年目～10年目	11年目～20年目	21年目以上	
基本研修	指定研修	・経験年数の各段階に応じて教職の職務遂行に必要な知識、技能、態度の向上を図るための研修 ・教育行政上必要とする研修	初任者研修	5年経験者研修	10年経験者研修	20年経験者研修
	職能研修	・校長・教頭・主幹教諭・主任等の職能の段階に応じて職務遂行のために必要な専門的知識・技能・力量等の向上を図るための研修		主任・主幹教諭等研修	行政職研修	管理職研修
専門研修		・基本研修を基盤とし、教科・科目、領域等の指導に必要な専門的知識・技能の習得を図る研修	教科・科目・領域等の専門的事項に関する研修			
総合研修	派遣研修	・職務遂行に必要な識見を高め、指導力の向上を図るために、県内外の研修機関へ派遣する研修	大学院、企業等 長期研修 教職員等中央研修			
	課題研修	・時代の進展変化に対応できる力を付けるため、グローバル化、情報化等、時代の動きを見据えた長期的な展望に立つ課題に関する研修 ・今日的教育課題に関する研修	先行的研究、今日的教育課題に関する研修			
	教職教養研修	・教育に関連した幅広い課題について、各界・各層の専門家を講師等に招き、教員としての専門的知識や教養を深め、広い視野から資質の向上を図るための研修	教育講演会、シンポジウム等			
校内研修		・教員一人一人の指導力を高め、学校が直面する様々な課題への対応を図るため、各学校が主体的に取り組む研修	授業研究、講習会、指導主事訪問（校内研修サポートプログラム）			
長期特別研修		・教員として必要な指導力の確保のため学校を離れて総合教育センターにおいて行う研修	指導力向上長期特別研修			
自主研修		・教員が自主的に行う研修活動	大学公開講座、カリキュラム支援室、CIT授業の技			

研修種別欄について、 ：原則悉皆研修、 ：原則希望研修（推薦含む）

ステージごとの研修目標(身に付けたい資質・能力)[教諭]

ゴシック体は、行動規準表の文言から抽出

評価区分	評価の着眼点		ステージ (初任者～)	ステージ (5年目～)	ステージ (10年目～)	ステージ (20年目～)
学習指導	指導計画の立案・実施	指導計画の立案・実施	指導計画にしたがい適切に実施している。	学習指導要領に基づき、学習の順次性を考慮して指導計画を立案し、適切に実施している。	学習指導要領や学校の指導方針に基づき指導計画を立案し、適切に実施している。	学習指導要領や学校の指導方針に基づき指導計画を立案し、適切に実施するとともに、学校の学習指導上の諸課題を把握し、指導計画の改善を行っている。
		学習指導案の作成	学習指導案の一般的な形式を理解し、授業の流れをイメージできるように、学習指導案を作成している。	身に付けさせたい力やねらいがわかり、評価規準や評価計画を明らかにした学習指導案を作成している。	目標、授業、評価を関連付け、評価規準や評価計画、評価方法を明らかにした学習指導案を作成している。	目標、授業、評価を関連付け、評価規準や評価計画、評価方法を明らかにした学習指導案を作成している。
	教材研究・指導方法の工夫	ねらいの明確化、教材研究	授業のねらいを明確にし、教材・教具を工夫するなど教材研究をして授業を行っている。	授業のねらいを明確にし、児童生徒の実態を踏まえたりするなど、適切な教材研究をして授業を行っている。	授業のねらいを明確にし、児童生徒の学習状況に即して教材の工夫を行っている。	授業のねらいを明確にし、児童生徒の学習状況に即して教材の工夫を行っている。
		児童生徒の学習状況の把握	児童生徒の理解度や反応を見ながら授業を行っている。	児童生徒の言動に対して適切に対応するなど、児童生徒の理解度や反応をみながら授業を行っている。	児童生徒の反応や言動の真意を読み取り、指導過程を修正するなどの適切な対応をしている。	児童生徒の反応や言動の真意を読み取り、指導過程を修正するなどの適切な対応をしている。
	話し方	声の大きさ、話す速さなど、話し方の基本技術を身に付けている。	内容や目的に応じて、緩急、強弱を考慮するなど、話し方の基本技術を身に付けている。	話し方、表情、所作などを工夫し、場面によって適切に使い分けている。	話し方、表情、所作などを工夫し、場面によって適切に使い分けている。	
	板書	板書計画を立て、筆順や見やすさを考慮し、丁寧に板書するなど、板書の仕方の基本技術を身に付けている。	書くべき内容を精選し、学習の流れがよく分かる板書計画を立てた上で、適切なタイミングで板書するなど、板書の仕方の基本技術を身に付けている。	児童生徒の様子を観察し、児童生徒の理解や思考の展開を把握しながら、わかりやすい板書をしている。	児童生徒の様子を観察し、児童生徒の理解や思考の展開を把握しながら、わかりやすい板書をしている。	
	発問	児童生徒の多様な意見を引き出す発問をしている。	児童生徒の思考を促す確かな発問をしている。	ねらいや学習方法に応じた主発問および機に即した補助発問をしている。また、発問に対する児童生徒の反応を授業の展開に生かしている。	ねらいや学習方法に応じた主発問および機に即した補助発問をしている。また、発問に対する児童生徒の反応を授業の展開に生かしている。	
	わかる授業の展開	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を心がけている。	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を展開している。	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を展開している。	児童生徒に学力を身に付けさせるためのわかる授業を展開している。	
	学習指導に対する理解と取組	学習指導要領や、学習指導と評価に関する基本的知識を身に付けている。	学習指導要領や、学習指導と評価に関する基本的知識を身に付けて、指導に生かしている。	学習指導についての専門的知識を身に付け指導に生かしている。	学習指導についての専門的知識を身に付け指導に生かすとともに、学校の学習指導上の諸課題について、積極的に課題解決にあたり、同僚に適切な支援、助言をするなどして校内の学習指導の向上に寄与したりしている。	
	評価の工夫	評価の工夫	評価規準に基づいた、適切な評価を実施している。	評価計画を立てて、適切な評価を実施している。	児童生徒の学習状況に応じて評価を工夫し、学力の向上に生かしている。	児童生徒の学習状況に応じて評価を工夫し、学力の向上に生かしている。
児童・生徒指導	児童生徒との信頼関係の構築	児童生徒理解	日常的なやりとりから、児童生徒の性格、希望、悩み等を理解しようとしている。	児童生徒一人一人の情報を収集、分析するなど、児童生徒の性格、希望、悩み等を理解するための取組を行っている。	様々な情報に基づいて児童生徒一人一人の状況を的確にとらえ、適切な指導方針を立てている。	様々な情報に基づいて児童生徒一人一人の状況や変化を的確にとらえ、適切な指導方針を立てている。
		信頼関係づくり・教育相談	カウンセリング・マインドをもって、一人一人の生徒理解を深めるかわりを作るなど、共感的・受容的に児童生徒に接している。	児童生徒が安心して相談できるような工夫し、児童生徒の思いを理解しながら適切な助言をするなど、共感的・受容的に児童生徒に接している。	児童生徒からの悩みの相談に対し、児童生徒の状況を的確に把握した上で、問題解決への道筋を適切に助言・指導するなど適切に対処している。	様々な教育相談の手法を身に付け、場面・状況に応じた相談方法を活用するなど、児童生徒からの悩みの相談に対し、適切に対処している。
	児童生徒への支援、指導	児童・生徒指導への取組	児童・生徒指導の目的や学校の方針について理解し、児童・生徒指導に取り組んでいる。	児童・生徒指導の目的や学校の方針について理解し、児童・生徒指導に適切に取り組んでいる。	学校の課題・方針等をもとに、児童・生徒指導に積極的に取り組んでいる。	学校の課題・方針等をもとに、児童・生徒指導に積極的に取り組んでいる。
		基本的生活習慣の指導	基本的生活習慣の育成を行っている。	基本的生活習慣の育成を適切に行っている。	基本的生活習慣やルール、マナーなどについて、積極的に指導している。	基本的生活習慣やルール、マナーなどについて、積極的に指導している。
	問題行動への対応	日頃から児童生徒の様子を観察し、指導の経過を記録しながら、問題行動等の早期発見、迅速な対応を行っている。	日頃から児童生徒の状況や内面を理解し、指導の経過を記録しながら、問題行動等の早期発見、迅速な対応を行っている。	指導の経過を記録しながら、問題行動等の早期発見、迅速な対応を行っている。また、問題行動の背景と直接的な原因を的確に把握し、適切な指導を行っている。	問題行動の背景と直接的な原因を的確に把握し、適切な指導を行っている。また、問題行動への対応に関して、同僚に適切な支援、助言をしている。	
	特別活動、進路指導等への取組	特別活動や進路指導等の意義を理解し、指導に取り組んでいる。	特別活動や部活動、進路指導等の意義を理解し、適切に指導している。	特別活動や部活動、進路指導等の指導を積極的に行っている。	特別活動や部活動、進路指導等の指導を積極的に行うとともに、同僚に適切な支援、助言をしている。	
	組織的対応	組織的対応の意義を理解し、児童・生徒指導にあたっている。	教職員間で児童生徒の情報を共有し、協力して児童・生徒指導にあたっている。	児童・生徒指導について、組織を活用し課題解決にあたっている。	児童・生徒指導について、組織を活用し課題解決にあたっている。	
	家庭・地域・関係諸機関との連携	家庭・地域・関係諸機関との連携	家庭との連携の重要性を認識し、連携を図っている。	家庭への情報提供に努めるなど、家庭との連携を図り、良好な関係を築いている。	家庭・地域・関係諸機関等と連携し、問題行動の予防や解決にあたっている。	家庭・地域・関係諸機関等と連携し、問題行動の予防や解決にあたっている。

ステージごとの研修目標(身に付けたい資質・能力)[教諭]

ゴシック体は、行動規準表の文言から抽出

評価区分	評価の着眼点		ステージ (初任者～)	ステージ (5年目～)	ステージ (10年目～)	ステージ (20年目～)
参画・経営	校務分掌への取組	校務分掌への取組	担当する校務分掌について、責任を自覚し、迅速・正確な処理をしている。	担当する校務分掌について、他の分掌や全体とのかかわりの中で自己の役割を理解し、迅速・正確な処理をしている。	校務分掌について、工夫や改善をして、積極的に取り組んでいる。	校務分掌について、工夫や改善をして積極的に取り組むとともに、同僚に適切な支援、助言を行っている。
		報告・連絡・相談	校務を処理する上で、報告や連絡、相談を適切に行っている。	校務を処理する上で、報告や連絡、相談を適切に行っている。	校務を処理する上で、報告や連絡、相談を適切に行っている。	校務を処理する上で、報告、連絡、相談を適切に行うとともに、校内の連携が円滑に行われるよう働きかけている。
	学級学年経営・参画	学級経営	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学級活動の意義を理解し、学級(学年)集団の規律を維持し、組織的に活動させている。	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学校教育目標や生徒の実態を踏まえ、学級(学年)集団の規律を維持し、組織的に活動させている。	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学校教育目標や学校の指導の方針を踏まえ、他の教職員と連携を図りながら、積極的に学級経営を行っている。	学級内での良好な人間関係づくりを行っている。 学校教育目標や学校の指導の方針を踏まえ、積極的に学級経営を行うとともに、同僚に適切な支援、助言をしている。
		学年経営	学年主任や他の正副担任と協力しながら、学年経営に参加している。	他の学級や学年と協力しながら学年経営に参加し、課題を解決しようとしている。	学校の指導の方針を踏まえ、学年を経営または経営に参画している。	学校の指導の方針を踏まえ、学年を経営している。
	学校経営への参画	学校経営への参画	各種委員会など校内組織での自らの役割を果たしている。	各種委員会など校内組織での自らの役割を自覚し、果たしている。	学校経営上の課題をもとに、その解決のために積極的に参画している。	学校経営上の課題をもとに、その解決のために積極的に参画している。
	家庭・地域・関係諸機関との連携	家庭・地域・関係諸機関との連携	学級経営や教科についての理解を促すために、家庭に情報を提供している。	学級経営や教科についての理解を促すために、家庭に情報を提供したり、地域と連携・協力したりしている。	家庭・地域・関係諸機関等と連携・協力しながら、校務を処理している。	家庭・地域・関係諸機関等と連携・協力しながら、校務を処理している。
意欲・態度	教育的愛情・熱意	教育的愛情	児童生徒に教育的愛情を持って接している。			
		信念・熱意	正しい信念のもと、熱意をもって仕事に取り組んでいる。			
		人権尊重の精神	人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。			
	誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位	礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。			
		公正	偏りが無い見方・考え方で公正に勤務している。			
		法令の遵守	職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。			
	責任感・寛容性・協調性等	責任感	責任を持って職務の処理にあたっている。			
		寛容性	異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。			
協調性		同僚と協調して職務にあたっている。				
研修に対する意欲	研修	自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。				

とちぎの求める教師像

- ・人間性豊かで信頼される教師
- ・幅広い視野と確かな指導力をもった教師
- ・教育的愛情と使命感をもった教師

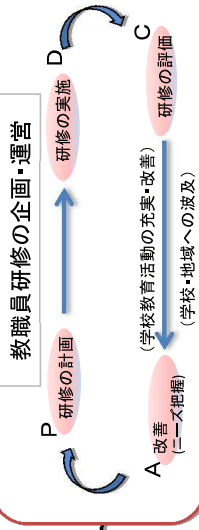
教職員評価制度

- 総務課
- 教職員課
- 学校教育課
- 健康福祉課
- 特別支援教育室 等
- 各教育事務所
- 各市町教育委員会
- 宇都宮大学等外部機関

総合教育センターのミッション
とちぎの教育の未来をひらくために
～「育てます」「支えます」「広がります」～

- 研修部
- 総務部 生涯学習部 研究調査部
- 教育相談部 幼児教育部 教育経営研究室

法令 答申 とちぎ教育振興ビジョン(三期計画)



※1 基本研修

新規採用の年から当該年数段階に即応して教員として必要な基本的知識・技術及び態度を習得させる。

各ステージの研修目標

ステージⅣ
・授業改善、学校運営全般にわたっての指導者、管理者としての役割を果たす力量を身に付ける。
・教育活動全般において教員目に対する指導力を発揮し、機動的な学校運営の中心となる役割を担い資質・能力を身に付ける。

ステージⅢ
・学年や分掌の運営、経営等に関する知識及び技能を習得し、学校運営のための企画力高め。
・専門性の向上と得意分野の伸長を目指し、教科・学習の指導、児童・生徒指導等の実践力を一層高めるとともに、後輩への指導・支援ができる資質・能力を養う。

ステージⅡ
・学習指導や生徒指導、学級経営等に関する専門的な知識及び指導技術を習得し、実践的指導力の向上を図るとともに学校経営の一翼を担う力をつける。

ステージⅠ
・教育活動に必要な基礎的な知識及び指導技術を習得し、組織の一員として行動する実践的指導力を身に付けるとともに、教師への使命感を高めらる。

本県の教師を目指している大学生等

※2 専門研修1
法律上定められている職位にある者を対象に、その職業遂行のために必要となる専門的知識・技術及び態度を習得させる。

- 校長研修(小中高特)
- 新任校長研修(小中高特)
- 教頭2年目研修(小中高特)
- 新任教頭研修(小中高特)
- 新任主任教諭研修(小中高特)
- 新任学芸主任研修(小中高特)
- 新任学習指導主任研修(小中高特)
- 新任生徒指導主任研修(小中高特)
- 新任進路指導主任研修(小中高特)
- 新任部主事研修(特)
- 新任栄養教諭研修
- 新任道徳教育推進教師等研修
- 人権教育指導者専門研修
- 新任補佐級専務専務長研修(小中)
- 新任係長級専務専務長研修(小中)
- 新任係長級学校栄養職員研修
- 新任地連連携職員研修

- 英語授業力向上研修
- ネクストスター研修
- 校内支援体制研修
- 教育相談指導者養成研修(高)
- 特別支援学級等新任教員研修
- 特別支援学級等実地研修
- 新任特別支援教育
- コーディネーター研修(小中)
- 特別支援学校推進者研修(高)
- 特別支援学校新任教員研修
- 職業教育指導力向上研修
- 自立活動指導者研修
- 新任免許教科担任研修(中)
- 産業教育基礎技術研修
- 理科・基礎実験研修(高)
- 合同研修(幼保小)
- 幼保小相互連携体験研修

※3 専門研修2
自主的に自己啓発を願う教員の研修意欲を充実させ、専門職としての職見と能力を伸長させる。

- 【教科等専門研修】16講座
- 国語専門研修
- 社会、地理公民専門研修
- 算数専門研修・数学専門研修(中)
- 数学専門研修(高)
- 理科専門研修 I
- 理科専門研修 II
- 生活専門研修
- 音楽専門研修
- 図工、美術専門研修
- 保健体育専門研修
- 技術分野専門研修
- 家庭、家庭分野専門研修
- 英語専門研修
- 道徳専門研修
- 養護教諭専門研修
- 栄養教諭、学校栄養職員専門研修
- 小学校理科観察実験研修(中級)
- 小学校理科観察実験研修(初級)
- 産業教育専門研修(農・工・商・家)
- 実習助手研修

- ICT活用研修(エクセル入門)
- ICT活用研修(エクセルマクロ)
- ICT活用研修(パワーポイント入門)
- ICT活用研修(動画編集)
- ICT活用研修(学校ホームページ構築)
- ICT活用研修(画面上での活用)
- 学校図書館研修
- 校内研修ステッピング講座
- 環境学習プログラム研修
- スキルアップセミナー
- 特別支援教育研修
- トップセミナーⅠ、Ⅱ

※4 専門研修3
とちぎの教育未来塾
若手教員や本県の教員を目標とする学生等を対象に、教育観の確立や、実践的指導力の向上を図る。

- 教科自主研修
- 環境学習プログラム体験セミナー
- 生涯学習研修
- 宇都宮大学との連携10講座 場所 宇都宮大学

- とちぎの教育未来塾
- 土曜日10日(20講座)
- ・児童・生徒指導
- ・学級経営
- ・特別活動の指導
- ・道徳指導
- ・指導案作成
- ・模擬授業 等

組織力・授業力向上への支援

校内における研修

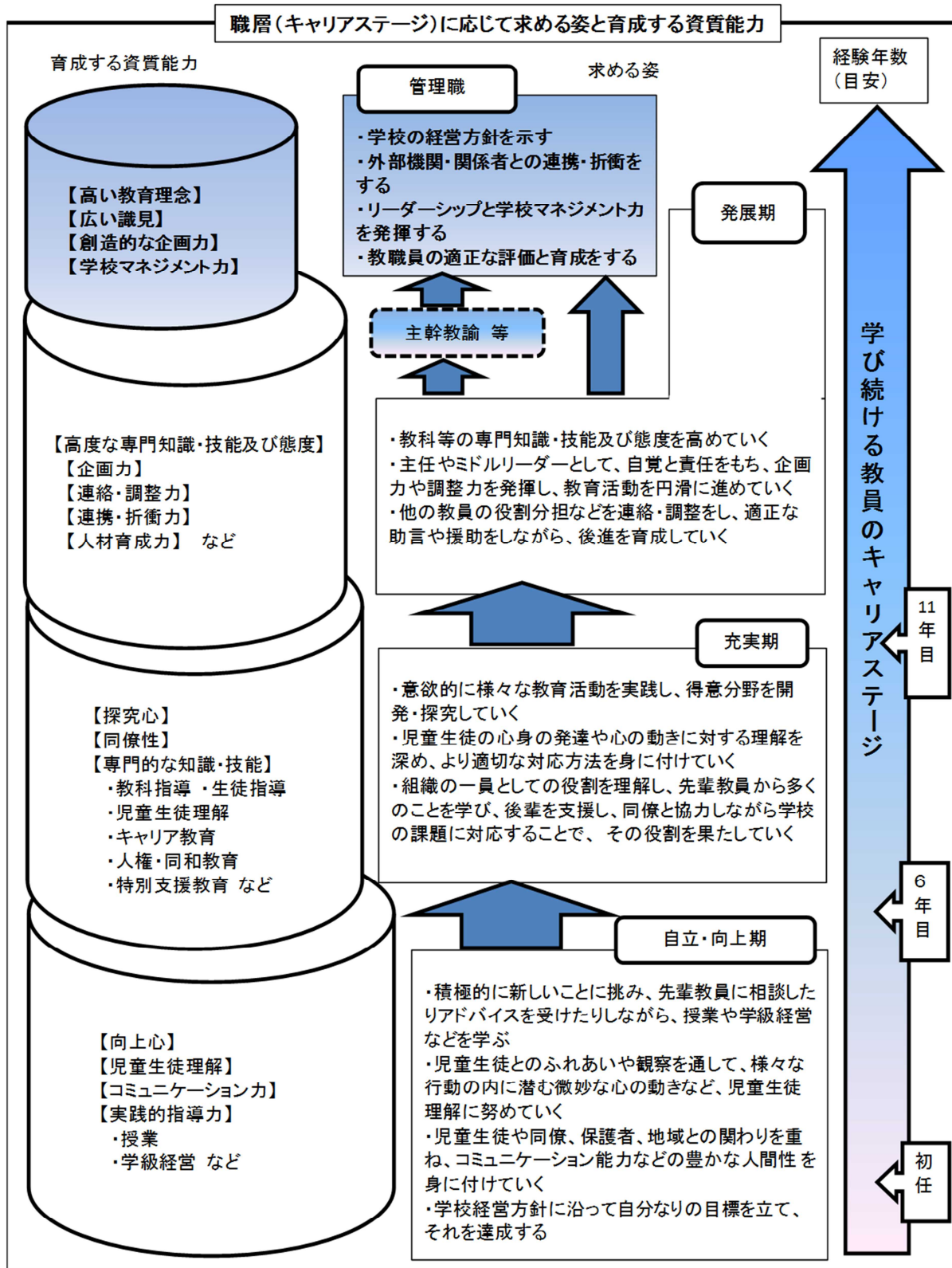
※本研修には、ここに掲載した教諭対象の研修の他に、養護教諭、事務職員、学校栄養職員対象の研修がある。ただし、事務職員には2～5年目研修・20年目研修、学校栄養職員には20年目研修はない。

—OSAKA 教職スタンダード—

「OSAKA教職スタンダード」は

- ・教員として共通に必要な資質能力をキャリアステータスごとに整理して「OSAKA教職スタンダード」を作成しました。
- ・キャリアステータスは、第0期から第4期までに5段階に分けています。教職に就く前の準備段階を「第0期」とし、教職に就いてからは、初任期にあたる「第1期」からはじまり、ミドルリーダーとして発展・深化する「第2期」を経て、キャリアの成熟期にあたる「第3期」までの4段階に分け、あわせて5段階のキャリアステータスに対応づけています。
- ・また、教員として共通に必要な資質能力については、下記のとおり、5領域15項目に分類しました。

必要能力	教員としての資質的要素				
	第0期	第1期	第2期	第3期	第4期
1 人権尊重の精神	<p>人権意識、人権感覚を身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する知識を身に付けることにも、子どもの気持ち、願い、背景を理解した上で適切な対応ができる。 ・子ども一人一人を尊重するとともに豊かな人間関係を形成する集団づくりに努める。 	<p>人権尊重に基づいた子ども理解ができる、指導することができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の人権意識を把握し、課題解決に向けて取り組む。 ・学校の教育活動全体を通じて、人権尊重の教育を推進し、教職員に助言することができる。 	<p>学校の人権意識を把握し、課題解決に向けて取り組む。学校の中心役割を担い、人権尊重の教育を推進し、教職員に助言することができる。</p>	<p>学校の人権教育及び保護者を全面的・体系的に指導できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の人権意識を把握し、課題解決に向けて取り組む。学校の中心役割を担い、人権尊重の教育を推進し、教職員に助言することができる。 	<p>人権尊重の規範となる存在として、全教職員に適切に指導することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の理念に基づき、学校経営計画を策定することができる。
2 法令遵守	<p>一般常識を身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての一般常識を身に付けるとともに、法令遵守の意味を理解する。 	<p>教育公務員として法令を遵守する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として法令を遵守し、日常の職務を誠実に公正に遂行する。 	<p>教育公務員として法令を遵守する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育公務員として法令を遵守し、日常の職務を誠実に公正に遂行する。 ・法令遵守の大切さを他の教職員に助言できる。 	<p>法令遵守の精神を教職員に助言する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら常に法令遵守を意識し、教職員の規範となることにも、法令遵守の大切さを教職員全体に指導できる。 	<p>法令遵守の精神を教職員に指導する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら常に法令遵守を意識し、教職員の規範となることにも、法令遵守の大切さを教職員全体に指導できる。
3 学び続ける姿勢を持つ力	<p>省察力を身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩教員から学ぶ 	<p>省察力から学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩教員から学ぶとともに、自らの実践を見出し、自己成長を図るための努力をする。 	<p>幅広い専門性を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省察力を活かし、幅広い専門性に基づくキャリアアッププランを立て、教員としての成長を続け続ける。 	<p>最新情報を収集し、実践を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内外から最新の情報を収集し、自らの実践を振り返り改善し続けることにも、積極的に発言することができる。 	<p>学校教育目標達成のための情報を収集する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府や国等の情報を収集する。 ・学校教育目標達成のための情報を把握し、改善に向けてのビジョンを示し、教職員に指導・助言することができる。
4 課題解決能力	<p>自分の課題を認識し、課題解決に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題解決のために努力することにも、他者に相談するなど行動することができる。 	<p>自らの課題を把握し、解決に向けて行動できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけでなく、子どもや保護者の課題を認識し、課題解決のために教職員・管理職と相談しながら解決に向けて行動することができる。 	<p>学年(学校)の課題を把握し、解決に向けて行動できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年(学校)で生じている課題を把握し、解決する方策を考え、教職員・管理職等に相談しながら、解決に向けて行動することができる。 	<p>学校の課題を把握し、解決に向けて行動できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体にわたる課題を把握するため、教職員の意見等を取りまとめ、実行策を示すことができる。 	<p>課題解決に向けて適切な指針を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大域的に物事をとらえ、学校内外の課題を把握し、適切に対応することができる。 ・課題解決に向けて、主体的に取り組む、必要な指導・助言を行い、改善を図る。
5 危機管理能力	<p>安全に関わる基礎的な知識を身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全に関わる基礎的な知識を身に付けるとともに、身の回りの危険を察知し、回避することができる。 	<p>学校の危機管理に必要な知識があり、学校の安全管理のための適切な対応ができる。</p>	<p>学校安全の中心となって行動できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における危機管理について、学校の中心となって行動できる。 	<p>学校における危機管理体制を構築し、改善できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校安全に関わる研修等を企画し、実施することができる。 ・学校における危機管理体制(危機管理マニュアル等)を点検し、改善することができる。 	<p>学校・家庭・地域・関係機関との危機管理体制を構築できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を取り巻く危機管理について、学校・家庭・地域・関係機関との協力を構築し、必要に応じて十分な対応を図る。
6 事務処理能力	<p>提出期限を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出書類等の趣旨を理解し、期日までに提出書類等を提出できる。 	<p>学年関係の事務を正確・丁寧に処理できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年及び対外的な事務を、全教職員の事務処理能力を高め、遅延なく正確・丁寧に処理することができる。 	<p>学年関係の事務を正確・丁寧に処理できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年及び対外的な事務を、全教職員の事務処理能力を高め、遅延なく正確・丁寧に処理することができる。 	<p>学校関係の事務を正確・丁寧に処理できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年及び対外的な事務を、全教職員の事務処理能力を高め、遅延なく正確・丁寧に処理することができる。 	<p>作成した書類等について監視できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校・学年に係る事務及び対外的な事務に對し、遅延なく正確・丁寧に処理することができ、教職員の作成した書類等についても点検できる。



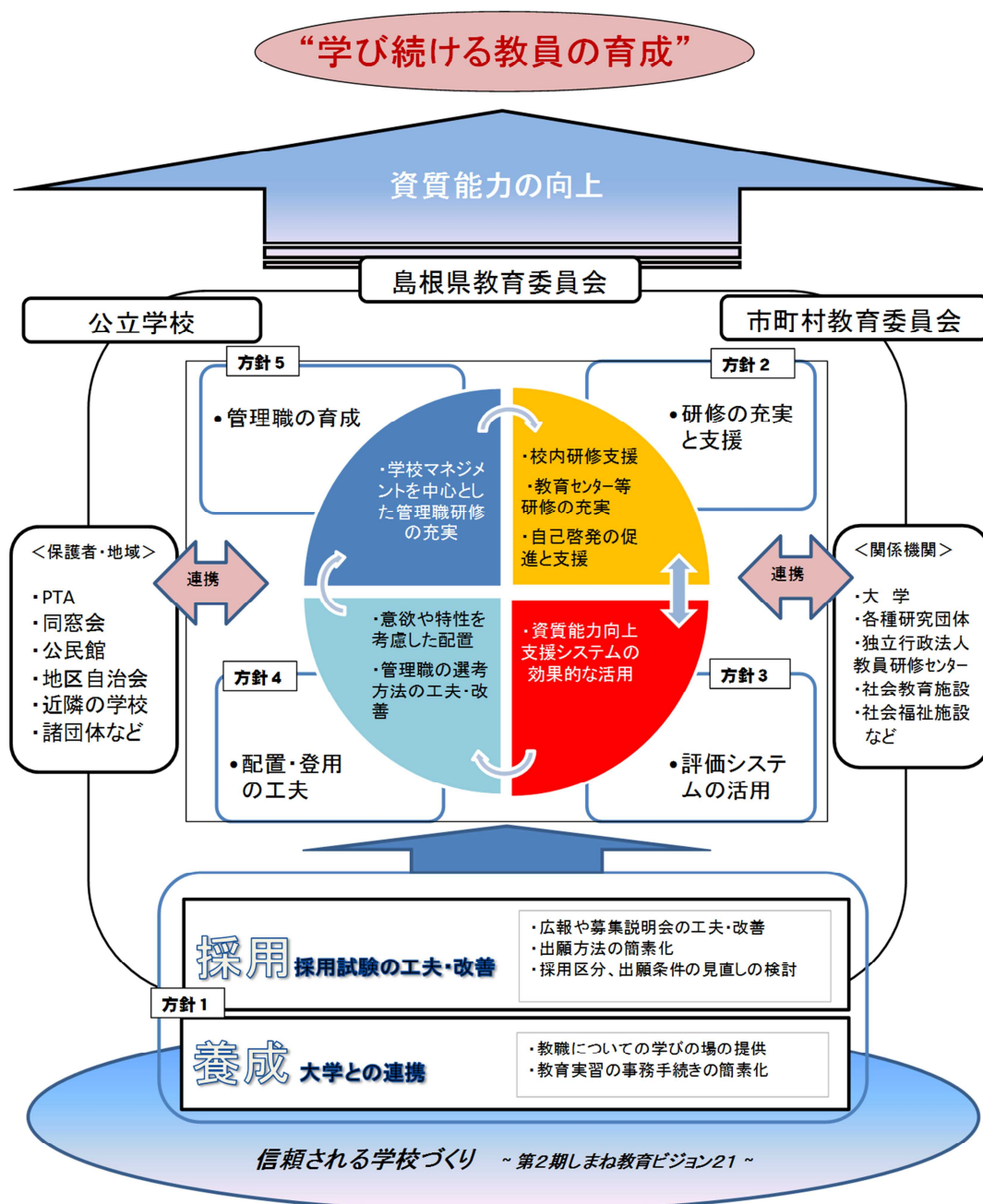
人材育成基本方針

人材育成のコンセプト（基本概念）を“学び続ける教員の育成”とし、次の5つの基本方針を設けました。

人材育成のコンセプト：“学び続ける教員の育成”

【人材育成基本方針】

方針1	優れた人材の確保	方針2	研修の充実と支援
方針3	評価システムの活用	方針4	適切な配置・登用
方針5	管理職の育成		



熊本県

別表1 キャリアステージに応じた必要な資質・能力

ステージ	目 標	必要な資質・能力			
		指導力等	マネジメント力	総合的人間力	使命感・倫理観
基礎期 (1～5年)	教育活動をはじめ職務遂行に必要な基礎的な知識や指導技術、技能を習得し、組織の一員として行動する実践的指導力を身に付ける。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務の基礎的理解及び指導技術、技能の習得。	学級経営等の基礎的な知識や集団の指導力。	人権に関する理解と確かな人権感覚及び良好な対人関係を形成する能力。	教育公務員としての基本的な自覚・規範意識を持ち、若手職員として職責を遂行する謙虚な姿勢。
向上期 (6～10年)	基礎期の経験を活かし、学習指導や児童生徒指導等をはじめ職務遂行に必要な実践的・専門的な知識や技能を習得・活用し、基礎期の教職員へ助言・支援を行うなど学校運営の一翼を担う力を身に付ける。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する実践的・専門的な知識、技能を習得し活用する能力。	学級経営等の専門的な知識や効果的な集団の指導力。	人権に関する確かな理解と豊かな人権感覚及び状況に応じて的確な発言・行動を行う能力。	教育公務員としての高い自覚・規範意識と若手職員の手本となる職務遂行意識。
充実期 (11～16年)	向上期の経験を活かし、学習指導や児童生徒指導はもとより学年経営や校務分掌等をはじめ職務遂行に必要な高度な知識や技能を習得し、ミドルリーダーとして実践的指導力を発揮するなど、学校運営の一端を担う企画力を高める。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関する高度な知識、技能を習得し、ミドルリーダーとして効果的に実践できる能力。	学級経営等の高度な知識や技能の習得と、ミドルリーダーとして学年を運営するための経営力・企画力。	人権に関する確かな見識とより豊かな人権感覚及びミドルリーダーとしての的確な状況判断能力とその判断に基づく行動力。	教育公務員としての高い自覚・規範意識とミドルリーダーとして後輩職員に適切な指導を行うなど、学校運営の一端を担おうとする意識。
発展期 (17～25年)	充実期の経験を活かし、学校運営、学習指導や児童生徒指導等をはじめ職務遂行に必要なより高度な専門的知識や技能を習得し、中核職員として全校的視野に立った実践的指導力を発揮するなど、広範な企画力・運営力・調整力を身に付ける。 管理職として必要な基礎的知識及び能力を習得する。	学習指導・生徒指導等をはじめ職務に関するより高度な知識や技能を習得し、中核職員として全校的視野に立った実践的指導力を学校内外へ発揮する能力。	学級経営等のより高度な知識や技能の習得と、中核職員として、全校的視野に立った広範な経営力・企画力。指導者・管理職として必要な基礎的知識や能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚及び中核職員として全校的視野に立った実践的指導力・各種調整能力。	教職員としての使命と職責の重要性の高次元での自覚と中核職員として全校的視野に立った指導力を発揮しようとする意識。
円熟期 (26年～)	発展期の経験を活かし、学校運営、学習指導や児童生徒指導等をはじめ職務全般にわたる、さらに高度な知識や熟練した技能を習得し、学校内外において指導的な教職員や管理職としての力量を高める。 管理職としての豊かな教職経験を踏まえた相談や助言等、他の教職員の力量形成を支援・指導する能力を高める。	指導者・管理職としての豊富な経験と学習指導・生徒指導等のさらに高度な知識や熟練した技能を活かした教職員の力量形成を支援・指導する能力。	学校経営等の推進者としてリーダーシップを発揮し、学校内外の能力、資源を開発、活用し、求められるニーズに適應させる能力。	深い教育的愛情と豊かな人権感覚及び指導者・管理職としての他の教職員への助言・援助など学校全体の指導的役割を果たすことのできる諸能力。	教職員としての崇高な使命と職責の重要性の深い自覚と指導者・管理職として学校目標の達成に全力を傾けようとする意識。

仙台市

～求められる教員の姿と力量～ 2015 年度版

	初任～5年経験 (育成期)	6～15年経験 (向上期)	16年以上経験 (充実・発展期)
教員としての基盤	教育公務員としての自覚と教職への誇りを持ち、謙虚な姿勢でその専門性の向上と社会人としての教養の修養に努める先生		教育者としての豊かな経験に裏打ちされた高い識見と熱き情熱を持ち、その専門性及び人間性の更なる磨きに努める先生
実践的指導力 【授業づくり】 【学級づくり】	<p style="text-align: center;">仙台市が目指す OJT</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 多様で多面的な OJT □ 同僚性を育む OJT □ OffJT を生かす <p style="text-align: right;">※OffJT：校外研修</p>		授業に関する専門性を一層向上させ、模範となる授業を自ら実践したり、校内の先生方の指導助言をしたり、しっかりと子どもに寄り添う先生
学校運営力 【学校づくり】	授業に関する基礎・基本を習得し、熱く子どもと活動できる先生	授業に関する専門性を向上させ、はつらつと子どもの活動に取り組む先生	授業に関する指導者としてのリーダーシップを発揮し、後進の育成に当たる先生
	校内の先生方の助言を受けながら、組織の一員として誠実に業務を遂行する先生	PDSI サイクルを活用し、自己の組織貢献力の向上に努めつつ、校内の先生方と連携しながら着実に業務を遂行する先生	校内の先生方の気持ちや立場を理解し、組織全体について幅広く見渡す心と知見を持って業務を遂行し、後進の育成に当たる先生

【教員としての基盤】

	初任～5年経験 (育成期)	6～15年経験 (向上期)	16年以上経験 (充実・発展期)
1 使命感・情熱	常に児童生徒のより良い成長を目指し、教職への誇りを持って教育活動に当たる。		常に児童生徒のより良い成長を目指して、教職への誇りと高潔な教育理念を持って教育活動に当たる。
2 高い倫理観	教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行する。		教育公務員として法令を意識し遵守の気運をつくり、誠実かつ公正に職務を遂行する風土を醸成する。
3 人間的な魅力	広い教養を備え、児童生徒や保護者、職員から信頼される人間的魅力を身に付ける。		豊かな経験に裏打ちされた高い識見を持ち、専門性・人間性を磨き、深い人間的魅力を身に付ける。
4 社会性・識見	保護者・地域の声に耳を傾け、良好な関係を築き、的確な判断のもと協働的に関わる。		学校への社会の要請を自覚し、高い識見を持って家庭・地域との協働をリードする。
5 向上心	広く研修に努め、より優れたものを目指し、他人の意見を謙虚に受け止め学び続ける。		常に教師としての在り方を求めながら自己研鑽に努め、教職員の範となる。

以下 17 の力量構成要素は OJT の指標として活用できます！

【実践的指導力 授業づくり】

	初任～5年経験 (育成期)	6～15年経験 (向上期)	16年以上経験 (充実・発展期)
1 カリキュラム デザイン ・確かな学力の育成 ・自分づくり教育 ・防災教育	<ul style="list-style-type: none"> □ 仙台版「ステップ」カリキュラムを参考に児童生徒の実態に応じたカリキュラムを作成する。 □ 標準学力検査等の結果から明らかになった児童生徒の実態に基づいた授業改善を行う。 □ 日常の教育活動を自分づくり教育の視点で捉え、児童生徒に適切な指導を行う。 □ 防災教育の趣旨を理解し、児童生徒に対して適切な指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自校の特色を生かしたカリキュラムを作成する。 □ 標準学力検査等の結果に基づいた自校の改善方策を作成・実践する。 □ 小中学校9年間を見通した自分づくり教育の全体計画を作成・活用し、自分づくり教育を組織的に展開する。 □ 仙台版防災教育年間指導計画を参考に自校に適した指導計画を作成し展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自校や地域の特色に応じてカリキュラムを編成し適切に管理する。 □ 自校の改善方策を組織的に展開し、年間指導計画の見直しや指導改善のために力を発揮する。 □ 自分づくり教育の推進に向けて校内の諸課題を整理するとともに、課題解決に向けてリーダーシップを発揮する。 □ 防災教育の質的向上や継続性を図るため、創意工夫のある指導計画を作成し展開する。
2 授業構想	<ul style="list-style-type: none"> □ 学習指導要領解説を理解し、学びの系統を踏まえて単元を構想する。 □ 目標や付けたい力に照らして児童生徒の実態を把握する。 □ 教材研究の大切さを理解し、積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 小中学校9年間の学びの系統を踏まえて単元を構想する。 □ 児童生徒の実態や地域の特色を生かした教材開発に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 児童生徒の実態を的確に把握し、個を生かした授業を構想する。 □ 単元開発を行い、授業づくりに関する専門性を高める。
3 授業実践・ 評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> □ 基本的な指導技術を身に付ける。 □ 指導と評価の一体化について理解し、評価規準を設定・計画する。 □ 計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、次時の指導に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 学習習慣を確立させ、本時(単元)の目標に迫る授業を行う。 □ 信頼性のある評価を目指し、児童生徒の意欲を喚起するよう指導を改善する。併せて、保護者に適切に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 教職員に授業力向上の視点を持って働きかける。 □ 指導と評価の改善につながるよう教職員に適切に助言を行う。
4 授業研究	<ul style="list-style-type: none"> □ 校内で進んで研究授業を行い他の教職員の指導助言を受け、授業を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 得意分野において校内、市教研などの研究授業を積極的に行い、授業力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 教職員の経験や個性を考慮しながら助言を行い、教材研究やカリキュラム開発に取り組む雰囲気醸成する。
5 情報管理 (ICT 活用)	<ul style="list-style-type: none"> □ 紙媒体を含め個人情報取り扱いについて正しく理解する。 □ 教材作成等において電子データを校外に持ち出す場合は公用の USB を使用し、個人情報を厳正・慎重に取り扱う。 □ ICT を活用した授業実践及び情報モラルの指導ができるよう、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 個人情報漏えいした場合の影響や被害を想定した上で情報を適切に管理する。 □ 授業の中で ICT を効果的に活用し、指導方法の改善を図りながら、児童生徒の学力向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 仙台市の「情報管理指針」に従って自校における情報セキュリティポリシーを理解し実践に生かす。 □ 学習指導の効果を高める ICT 活用のために、ICT 活用と教員の指導力との関連を意識し、専門性の向上を目指して自己研鑽に努める。



	初任～5年経験 (育成期)	6～15年経験 (向上期)	16年以上経験 (充実・発展期)
1 児童生徒理解	□自分の受け持つ児童生徒にじっくり向き合い、児童生徒の正しい実態把握に努める。	□自校の児童生徒の実態を把握し、個性や能力を伸ばす指導を行う。	□自校の児童生徒を深く理解し、愛情を持って接することができる。 □生徒指導についてリーダーシップを発揮し、後進の指導に当たる。
2 学級づくり 教室経営 組織経営	□児童生徒理解に基づく学級経営を行い、より良い学びの環境をつくる。 □清潔で安全な教室環境を整える。	□児童生徒理解に基づく学級経営を推進し、児童生徒同士のコミュニケーションを促進し望ましい集団をつくる。 □学年・学級経営方針を反映させ、児童生徒が意欲的に学習に取り組める教室環境を整える。	□自らの経験を生かし、成果と課題の把握と改善計画の実践により、学級経営を充実させ、より望ましい集団をつくる。
3 生徒指導・ 教育相談	□直面する課題と問題に気づき、先輩教員等に相談しながら課題を解決するとともに児童生徒、保護者への丁寧な対応を心掛ける。 □児童生徒の発するサインを見逃すことなく予防的な対応を心掛ける。	□直面する生徒指導上の課題や問題について、自校の教員と報告・連絡・相談を行いながら客観的な事実の把握に努める。	□全体計画を作成したり、自校の生徒指導上の課題解決に向け、具体的な方策を提案したりする。 □児童生徒の悩みやストレスに対応できる校内相談体制に積極的に参画する。
4 危機管理・ 安全管理	□いじめ防止、心のケア、食物アレルギー対応など児童生徒に係る安全配慮義務について理解する。 □事故発生に伴う適切な対応の在り方を理解する。	□緊急事態発生への対応について日頃から組織的な動きをイメージし、事故が起こったときに迅速に対応する。	□緊急事態発生への対応について日頃から組織的な動きをイメージし、事故への迅速かつ組織的な対応を行う。
5 配慮を要する 児童生徒の 理解と支援	□学校生活を送る上で配慮を要する児童生徒の実態を把握し、安心して過ごせる学級づくりに努める。	□特別支援教育コーディネーター及び関係機関と連携し積極的かつ計画的に支援を進める。	□配慮を要する児童生徒に応じた適切な指導・支援ができるよう、校内体制の充実に向けてリーダーシップを取る。

	初任～5年経験 (育成期)	6～15年経験 (向上期)	16年以上経験 (充実・発展期)
1 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> □対人関係をより円滑にするコミュニケーション能力の基礎を身に付ける。 □児童生徒・保護者・地域との信頼関係を築くために、積極的に活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> □相手の考えや意見、立場を尊重して受容するとともに、自分の立場(学年や校務分掌等)や組織を意識した建設的な考えや意見を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> □経験を生かしたり、課題解決に必要な情報や技術を自ら求めたりすることで、物事に柔軟に対応できるようにする。
2 職員間の円滑交流・意思の疎通	<ul style="list-style-type: none"> □「報告・連絡・相談」の機能とその方法について理解し、問題解決に向け積極的に職員間交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> □職員間の情報共有の場を積極的に設け、後進の良き相談相手となる。 	<ul style="list-style-type: none"> □管理職や他学年・他教科及び職種の異なる職員とのパイプ役としてつながりを密にした誠実な職員間交流を行う。
3 OJT 推進・自己啓発・人材育成	<ul style="list-style-type: none"> □指導・助言を受けながら、事務処理のプロセスを学ぶ。 □心身の状態把握について理解し、生活リズムの安定と健康保持に努める。 □教育活動や指導力向上に向けた情報交換を積極的に行い、2年目以降は初任の良きモデルとなるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> □学年及び上司と連携しながら計画的かつ的確に連絡や折衝等に努める。 □心身の健康保持のための方法等について理解を深め後進の相談役となる。 □校内 OJT を積極的に進め、切磋琢磨できる雰囲気づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> □効果的な PDSI サイクルの在り方や自己研鑽の在り方について、理解を深める。 □自己の心身の状態把握の及び教職員の健康把握にも努め、職場の健康保持のための実践に努める。 □同僚性を育む職場の雰囲気づくりを積極的に行い、学校全体を視野に入れた人材の育成に努める。
4 危機管理・安全管理	<ul style="list-style-type: none"> □校内における事故防止と安全対策をよく理解するとともに、自身の役割を理解し、迅速に対応できるよう備える。 	<ul style="list-style-type: none"> □事故防止と安全対策をよく理解した上で、場面や状況に応じ、学年等でシミュレーションを行うなど対応に備える。 	<ul style="list-style-type: none"> □万が一に備えた対応について、訓練シミュレーションを計画・実施するなどリーダーシップを発揮する。
5 コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> □コンプライアンス携帯シートの内容を正しく理解し、日頃から児童生徒・保護者から不信や誤解を招くことがないように心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □校内のコンプライアンス意識が高まるような実践を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □校内コンプライアンス委員会等を活用し、場面や状況に応じた対応について率先して研修を行う。
6 協働型学校評価・教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> □協働型学校評価について理解し、PDSIを意識して取り組む。 □校務分掌の業務内容を理解し、組織の一員として職務遂行に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> □児童生徒のよりよい姿を実現するための改善活動について理解し、保護者や地域と連携して活動する。 □校務分掌の遂行に努め、より効率的な職務遂行の手立ての工夫改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> □積極的に職務の効率化を図り、組織全体を俯瞰した具体的な策を打ち出し、業務改善を推進する。 <p>※PDSI:計画立案・実施・評価と点検・改善の検討 Plan Do See Improvement</p>
7 地域連携・ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> □積極的に地域行事などにも参加し、地域と学校の連携について認識を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> □学校支援地域本部を活用して、地域内の人や施設等の情報を的確に把握し、積極的に教育活動に反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> □これまでの経験や実践を生かして、地域との信頼関係と連携を深め、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

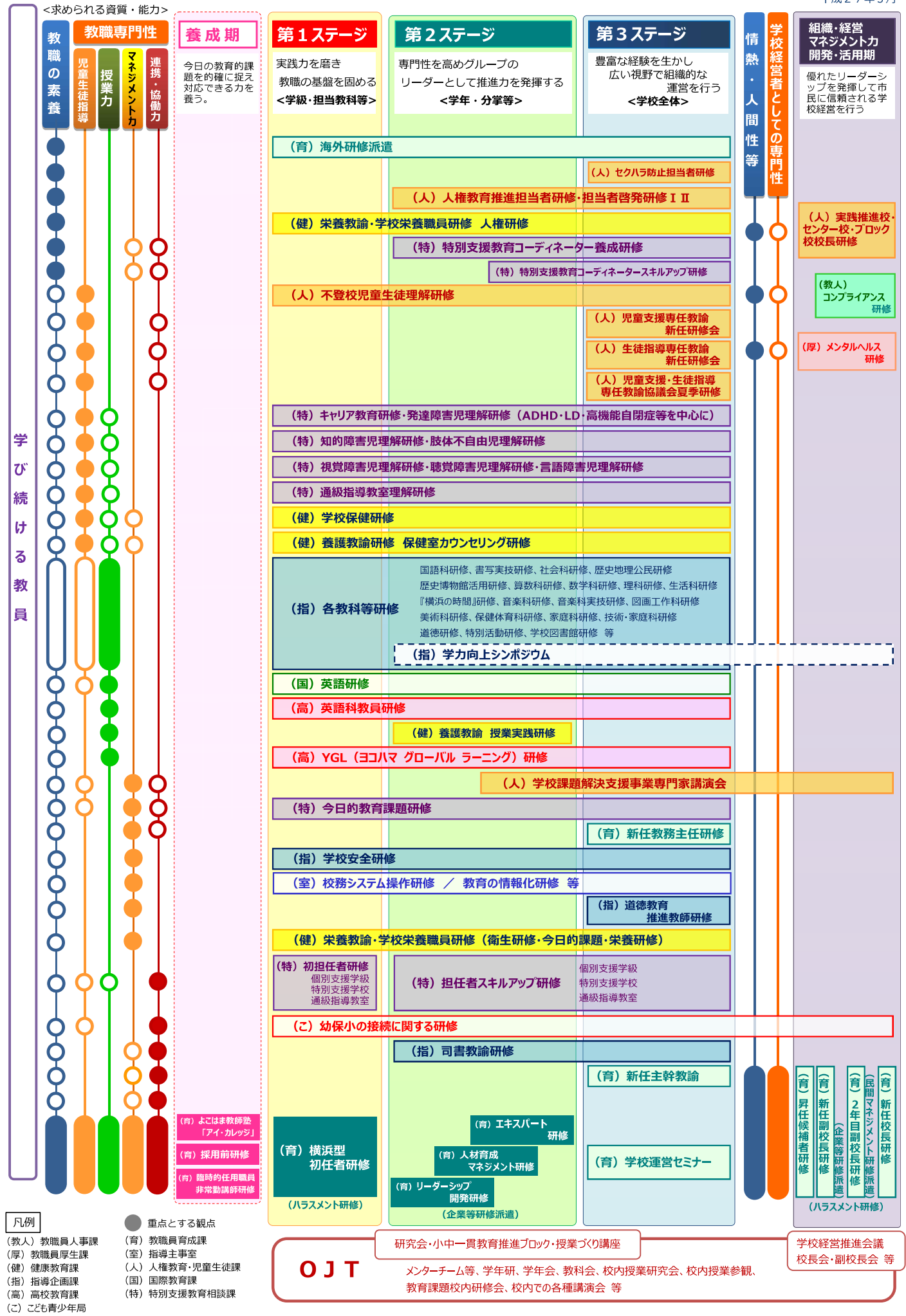
平成27年度「教員のキャリアステージ」における人材育成指標

平成22年2月策定
平成27年3月改訂

ステージ		横浜市が求める 着任時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	
			実践力を磨き 教職の基盤を固める 学級・担当教科等	専門性を高め グループのリーダーと して推進力を発揮する 学年・分掌等	豊富な経験を生かし 広い視野で組織的な 運営を行う 学校全体	
資質・能力						
教職の素養	自己研鑽・探究力	・常に自己研鑽に努め、探究心をもって自主的に学び続ける。				
	情熱・教育的愛情	・横浜を愛し、教職への誇りと強い情熱、児童生徒への愛情をもつ。				
	使命感・責任感	・教育公務員として、自己の崇高な使命を深く自覚し、法令及び「横浜市公立学校教職員行動基準」を遵守する。				
	人間性・社会性	・豊かな人間性や広い視野・高い人権感覚をもち、児童生徒や教職員・保護者・地域等との信頼関係を構築する。				
	コミュニケーション	・周囲の状況や相手の思いや考えを汲み取るとともに、自分の考えを適切に伝え、積極的に助け合い支え合う。				
学び続ける教職専門性	児童生徒理解 児童生徒指導	児童生徒理解	・児童生徒理解の意義や重要性を理解し、一人ひとりに積極的に向き合おうとしている。	・一人ひとりの背景を意識して、児童生徒に向き合う。	・児童生徒を取り巻く環境を的確に捉え、一人ひとりの理解を図る。	・教職員相互で共通理解を図ることができるように、組織の環境を整える。
		児童生徒指導	・個や集団を指導するための手立てを理解し、実践しようとしている。	・保護者等の関係者や校内組織と連携しながら、個や場面に応じた指導を行う。	・関係機関等と連携して、学年全体の児童生徒指導を行う。	・様々な関係機関等と連携して環境を整え、適切な指導を推進する。
	実態把握と目標の明確化 (PLAN)	実態把握と目標の明確化 (PLAN)	・学習指導要領を理解し、児童生徒の実態把握の必要性を認識し、目標を明確にして立案しようとしている。	・学習指導要領等を理解し、児童生徒の実態を把握したうえで目標を明確にする。	・学校の特色を考慮し、実現した姿を想定して目標を明確にする。	・地域の特色も考慮した実態把握を行い、各教科の目標設定に生かすための発信を行う。
		指導と評価の計画立案 (PLAN)	・評価全般の意義及び、評価規程、指導・評価計画の意味を理解し、立案しようとしている。	・評価の目的を理解し、指導と評価の計画を立てる。	・目標を実現するために、効果的な評価の機会を設定し、指導と評価の計画を立てる。	・校内の指導と評価の計画を把握し、的確な支援を行う。
	指導技術、指導形態の工夫 (PLAN)	指導技術、指導形態の工夫 (PLAN)	・板書や発問等の基本的な指導技術を身に付け、実践しようとしている。	・「習得・活用・探究」の学習を重視し、学び合い等の場面を取り入れた授業の展開を計画する。	・身に付けた技術を生かし、思考力・判断力・表現力や意欲をさらに高める工夫をする。	・個や集団に応じた効果的な指導方法を工夫・選択し、発信を行う。
		授業中の指導と評価 (DO)	・「指導と評価の一体化」の意味を理解し、児童生徒の様子を把握しながら授業を実践しようとしている。	・集団の中の一人ひとりの学習状況を把握し、適切に指導・助言を行う。	・学習状況に応じて、適切に補充的・発展的な指導・助言を行う。	・学習状況を適切に評価し、状況に応じた効果的な指導方法で実践するとともに発信を行う。
	省察及び改善 (CHECK, ACTION)	省察及び改善 (CHECK, ACTION)	・授業改善の意義や授業を分析し改善する手立てを理解し、実践しようとしている。	・一人ひとりの学習状況を把握し、次時や次単元の指導に生かす。	・適切な授業評価を行い、継続的に自己の専門性向上に努める。	・自校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、年間指導計画等の改善を行う。
		研究の推進と研究体制構築	・研究会や研修会に積極的に参加する意義を理解し、実践しようとしている。	・校内研究会や他校の授業研究会に積極的に参加し、授業に生かす。	・校内研究会・校外研修会の企画・運営に携わり、授業力やマネジメント力の向上を図る。	・研修会で得た情報や自らの実践を広く情報発信して、自校の教育活動に生かす。
	マネジメント力	学級経営・学校経営ビジョンの構築	・学級担任の役割と職務内容及び、学校組織・運営や校務分享を理解し、自分ができることを実践しようとしている。	・学校教育目標を理解し、学級経営や教科経営の方針を立て、一貫性のある指導を行う。	・組織運営や教科経営に積極的に関わり、学校教育目標の実現に向けて工夫改善を行う。	・学校運営について創造的なビジョンの構想やプランの構築に参画し、教育活動を活性化させる。
		人育成(メンターチーム等の活動)	・学び続けることの意義を理解し、アドバイスに耳を傾け、自らを改善しようとしている。	・疑問点や悩みを相談したり、共有し合ったりしながら、自らの実践力を磨く。	・互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の浅い教職員を積極的に支援する。	・人材育成の重要性をふまえ、教職員の経験に応じた効果的な人材育成の環境をつくる。
	力	資源(人・もの・情報・時間・資金等)の活用	・学校内外の資源の種類やその活用目的・意義を理解し、実践しようとしている。	・身の回りの資源を積極的に教育活動に生かす。	・教育活動に効果的な資源を見極めて活用する。	・状況や課題にふさわしい活用方法を考え、教育活動全体の充実に図る。
		危機管理	・危機管理の重要性を理解し、危機を察知した場合に、素早い行動をとろうとしている。	・安全や教育効果に配慮した環境を整備し、課題について「報告・連絡・相談」を確実に行う。	・危機を予測し連携して未然防止を図るとともに、早期発見、早期対応に努める。	・平常時の未然防止、抜本的改善、再発防止を組織的に推進する。
	連携・協働力	同僚とチームでの対応	・組織の一員としての自分の役割を理解し、同僚と協力して対応しようとしている。	・組織の一員として教職員と積極的に関わり、求められている役割を理解して対応する。	・互いの良さを認め合い、それぞれの力を生かして対応する。	・組織の特性をふまえ、広い視野をもって対応力を高める。
保護者や他の組織等との連携・協働		・保護者連携の重要性を理解し、保護者や地域と積極的に関わろうとしている。	・保護者、地域と積極的に関わり、連携・協働して対応する。	・保護者、地域、関係機関との関わりを深め、連携・協働して対応する。	・保護者、地域、関係機関との連携・協働のネットワークを形成する。	

平成27年度「教員のキャリアステージ」に応じた教員研修体系

平成27年3月



学び続ける教員

研究会・小中一貫教育推進ブロック・授業づくり講座

OJT

メンターチーム等、学年研、学年会、教科会、校内授業研究会、校内授業参観、教育課題校内研修会、校内での各種講演会 等

学校経営推進会議
校長会・副校長会 等

凡例

- (教人) 教職員人事課
- (厚) 教職員厚生課
- (健) 健康教育課
- (指) 指導企画課
- (高) 高校教育課
- (こ) こども青少年局
- (育) 教職員育成課
- (室) 指導主事室
- (人) 人権教育・児童生徒課
- (国) 国際教育課
- (特) 特別支援教育相談課

● 重点とする観点